

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
起業家教育 I Entrepreneur Education I		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	()	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
経営学 I・II、ビジネス実務総論、ビジネス実務演習 I・II、マーケティング				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学 I、ビジネス実務総論、ビジネス実務演習 I、マーケティング				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
長江 庸泰	本館 2F (研究室1)	月～木曜 9:00～16:00 (授業・会議時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
本講義は、起業（会社づくり）のプロセスとして「会社の設立」、「販売体験」、「決算活動」などを擬似的に体験させることにより起業家精神といわれる「チャレンジ精神」や「創造性」等を養うことを目的に、商品企画開発の基礎的な考え方と基礎的な手法を学修する。特に、企業や組織が最大利益や成果を獲得するために、従業員を合理的に活用し、従業員のやる気を高めるために必要な仕組みや制度や支援を考える「人的資源管理」を重点的に学修する。				
授業の目標				
①起業に必要な基本的な手続きを説明できるようにする。 ②組織における自分の役割を自覚して、そのための具体的な行動がとれるようにする。 ③人的資源管理に基づく論理的な思考と批判的な思考を行えるようにする。 ④チーム活動を通じて、コミュニケーションを円滑に行い、チーム目標を達成できるようにする。				
授業の方法				
本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等のアクティブラーニングを活用しながら、起業に精通した人材育成を目指すものである。				
学習の成果（学習成果）				
①起業に必要な基本的な手続きを説明できる。 ②組織における自分の役割を自覚して、そのための具体的な行動がとれるようになる。 ③起業家精神にもとづいて自主的に問題解決のための行動がとれるようになる。 ④国際的視野に立ち、必要な情報を収集・分析して自らの考えを説明できるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)自分のキャリアデザインを考えてみる①			
第2回目	自分のキャリアデザインを考えてみる②/(グループワークによるプレゼンとディスカッション①)			
第3回目	社会的初期キャリアとしての就職活動①、「採用条件」			
第4回目	「人的資源管理」としての就職活動②、企業から見た「採用」			
第5回目	「人的資源管理」としての企業から見た「採用活動」のメカニズムと論理			
第6回目	企業から見た「賃金制度」①キャリアデザインと生計計画			

第7回目	企業から見た「賃金制度」②人的資源管理と労働市場、賃金・労働時間	
第8回目	企業内キャリアを考える①企業内キャリアの分類と特徴	
第9回目	企業内キャリアを考える②企業内キャリアのデザイン	
第10回目	企業の設立(グループ別け、役職決定)、企業設立の法的手続き、商品企画の進め方	
第11回目	商品開発のための市場調査①(アンケート調査項目の検討)、仮説発掘法1:導入、フォト日記法	
第12回目	商品開発のための市場調査②(アンケート調査の実施) アンケート/(グループワークによるプレゼンとディスカッション②)	
第13回目	ビジネスプランの作成①(ビジネスプランの概要と商品の決定)、アイデア発想法1:導入、焦点発想法	
第14回目	ビジネスプランの作成②(商品決定)、アイデア発想法2:アナロジー発想法	
第15回目	ビジネスプランの作成③(商品価格の決定、予想売上高・費用・利益の決定)、アイデア発想法3:ブレインライティング	
事前・事後学習	事前学習(シラバスの学習ポイントを自分で調べ、質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを見直しながら、1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜き、3)自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	以下の3点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。
レポート	30%	Sのレポートの評価:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計3回提出予定(締切は各月末)。
調査報告書		
小テスト	20%	グループワークによるプレゼンテーション力のS評価:①内容が創意工夫した発表となっている、②グループの意見が論理的に述べられている、③グループで協働し、積極的に質疑応答に臨んでいる。
試験	20%	期末記述試験
発表内容(態度含む)	20%	Sのレポート発表評価:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。
その他		上記評価基準に基づき成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59
教科書と参考図書		
		八代充史著『人的資源管理論』、中央経済社(978-4-502-08850-6)及び長江庸泰作成の“デジタルテキスト[起業家教育I 2019年度版]”を活用する。
履修上の留意点・ルール		
		●実務経験(職種:会社役員、職歴:通算39年) 本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、自主創造の精神に基づく課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けましょう。